

住民意見募集(パブリックコメント)実施結果について

(資料1)

No.	ご意見	回答(案)
1	<p>稲美町の中心部でのみ住宅が増えており、周囲の地区は容易に住宅が建てられず、人口減少、高齢化が進んでいるように思える。将来を考えるとこれらの対策を進めていく必要がある。</p>	<p>稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略7ページ(1)移住の推進③土地利用の促進にありますように、田園集落まちづくり事業や、旧加古村・母里村役場跡周辺での地区計画を設定するなど、市街化調整区域における新居住宅対策の推進を図ってまいります。</p>
2	<p>統計資料のため、今後のビジョンは考えにくい。</p>	<p>人口ビジョンは、国の長期ビジョン及びこれまでの推計や分析・調査結果などを考慮し、稲美町が今後目指すべき将来の展望を定めています。稲美町では、自然増(出生数)対策として、こども女性比0.1865を維持するとともに、合計特殊出生率が1.4以上となることを目指します。また、社会増対策として転入超過を維持し、毎年の転入超過者数約60人を目指すことで、2060年(令和42年)における稲美町の人口2万人を目指してまいります。</p>
3	<p>町の人口増を図るには、まず全国的にアプローチをしていかなければならない。現在、人口流入策に奏功した実例から考えるに、積極的なメディアへの露出が挙げられる。世の中に知ってもらうためのテレビ・ネット戦略を図る。これはマクロ的な視点。ミクロ的にはやはり製造業の誘致。明石市と三木小野の間に位置する交通の便の良さは利点の1つ。製造業はそこで働く社員、アルバイト、外国人労働者など多くの人を誘致できる。そこにマンション建設を図り、一軒家に魅力のない人も巻き込んで人口増、住み続けてもらう体制づくりを行う。</p>	<p>稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略11ページ(1)にぎわいのある交流と観光の推進①地域の魅力の発信にあります、「稲美に来てんか事業(稲美町まち・ひと・しごと創生定住促進事業)」において、稲美町移住・定住促進PR方針及びPR方針に基づくPR媒体を制作しており、近畿圏を中心に稲美町の魅力の発信に努めています。また、6ページ(3)活力のある商工業の振興④企業誘致の推進にありますように、製造業を中心に新規立地又は移転などの企業誘致を推進し、流入人口の拡大を図ります。</p>
4	<p>具体的に成果があがってきている取組みは何か。私は稲美町に住んで長いですが、土地開発が進んできていると思う。これから力を入れてやっていきたい事業は何か。具体的なアイデアは私には無いが、いなっちをはじめ、稲美町をイメージさせるブランドを発信していけたらおもしろいなと思います。</p>	<p>稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略7ページ(1)移住の推進にありますように、市街地の整備促進や親元近居住宅等支援補助事業をはじめとして、転入人口の拡大を図るとともに、U I Jターンしやすい環境形成を行い、人口減少の抑制を図っております。また、11ページ(1)にぎわいのある交流と観光の推進①地域の魅力の発信にあります、「稲美に来てんか事業(稲美町まち・ひと・しごと創生定住促進事業)」において、稲美町移住・定住促進PR方針及びPR方針に基づくPR媒体を制作しており、近畿圏を中心に稲美町の魅力の発信に努めてまいります。</p>

住民意見募集(パブリックコメント)実施結果について

(資料1)

No.	ご意見	回答(案)
5	<p>稲美町の公共事業に対する入札について、地元企業への優先発注、他地域からの企業と代価評価を差別化する(税込分のアドバンテージはあるはず)ことで地域企業を支援する。 都市部への就職者に対する交通手段を確保しないと住民増は無理。現状は陸の孤島状態。 (案1)土山駅周辺に割安な駐車料金の住民用駐車場を確保する。駐車場から土山駅間はシャトルバス運行。 (案2)保育所、学童保育の充実で若手世帯の誘いこみを図る。</p>	<p>稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略6ページ(3)活力ある商工業の振興として、活力ある商工業の振興を図ってまいります。 また、12ページ(2)安全安心で快適な暮らしの実現③便利で快適な公共交通の実現にありますように、公共交通の維持・確保に努めるとともに、日常生活の利便性向上のため、新たな交通手段の実現に取り組んでまいります。 さらに、10ページ(2)安心して出産・子育てができる社会の実現②子育て家庭への支援にありますように、働く女性のニーズに応じた子育て環境の整備や多子世帯への支援など、子どもを産み、育てやすい環境を整備してまいります。</p>
6	<p>稲美町は、他市町にないこんな支援をしています。 大きなPRとなり、若者から関心が高まる。</p>	<p>稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略11ページ(1)にぎわいのある交流と観光の推進①地域の魅力の発信にあります、「稲美に来てんか事業(稲美町まち・ひと・しごと創生定住促進事業)」において、稲美町移住・定住促進PR方針及びPR方針に基づくPR媒体を制作しており、近畿圏を中心に稲美町の魅力の発信に努めます。</p>
7	<p>若い世代の移住を可能にする取組みについて。 篠山市は残留農薬と放射能測定をしています。韓国では学校給食が無償化で有機野菜で作られていたり、羽咋市が有機野菜を栽培して学校給食に使われていたりしています。離農者が増加していく中で有機栽培、EM菌、生ごみを堆肥化等で、安全で安心の学校給食と農薬のないまちづくりを子どもたちのためにもお願いします。安全な環境を持続可能な街こそが未来に残ると思います。太陽光発電等、地域で電力を賄う仕組みを構築して欲しいです。</p>	<p>稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略8ページ(2)ふるさと意識の醸成①食育の推進にありますように、学校給食において積極的に地産地消に取り組むなど、学校の教育活動全体で食育と健康づくりを推進しています。 また11ページ基本目標として、「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」とありますように、全ての世代が安全安心かつ快適な生活ができるよう、活気のある稲美町を創出します。</p>